

ゆめみにゅーす



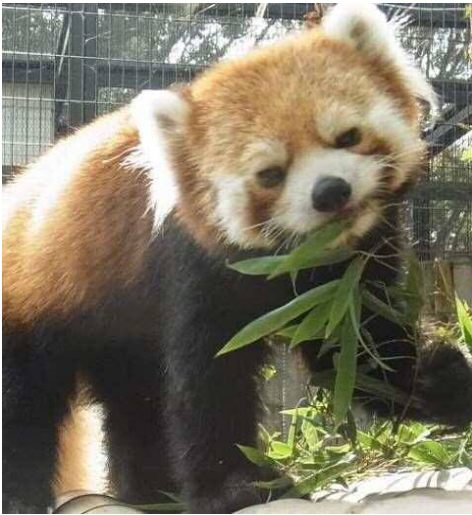
YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 48
発行日 平成30年5月1日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:23種141点
鳥類:24種96点
爬虫類:10種54点
(平成30年4月末日現在)

パンダの慣入り



4月4日、レッサーパンダのケンタが繁殖のため、兵庫県にある姫路セントラルパークへ引っ越しました。かわいい顔で体が大きく力も強く、毎晩のように寝室では自分より重い木箱をひっくり返す「暴れん坊」だったので、その存在感は一際で、職員もいなくなった寂しさをひしひし感じています。これからは姫路で元気に存在感を発揮してくれることを皆様とともに祈っております。ケンタ、元気でね!

新任職員紹介

4月から動物園で働き始めた職員の紹介です。



見ること・聞くことすべてが勉強の慌ただしい日々を送っています。ここ加瀬山は四季折々の花や野鳥が楽しめる環境で散策好きの私としては天国のような場所です。一日も早く一人前の園長になれるよう頑張りますのでよろしくお願いします。(園長・村木芳夫)

かわいい動物がいる職場はやりがいがあり、毎日がとても充実しています。皆さんも、かわいい動物たちに会いに遊びに来てください。(飼育・高橋誠子)



*公式フェイスブックはじめました。詳しくはホームページの「夢見ヶ崎動物公園 お知らせ」から。

★ピックアップ動物★

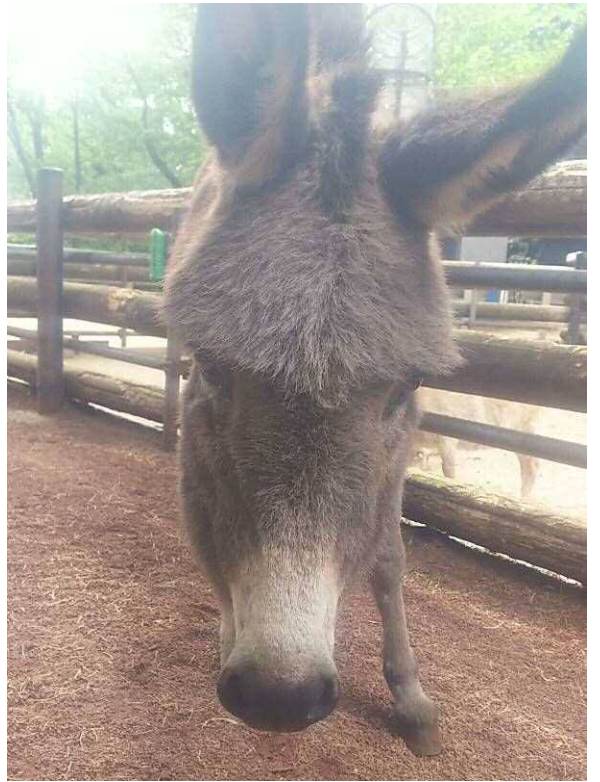
ロバ 哺乳綱 奇蹄目 ウマ科

現在夢見ヶ崎動物公園にはメスのロバが1頭います。かつて千葉市からやってきた、15歳の「カグヤ」です。

家畜でありながら、ヒトに対してあまり積極的にわかりやすく甘えることはありませんが、飼育員には「撫でて」と要求し、首や頭をごしごし撫でたりブラッシングしたりしてやると、うっとり目を細め、口が半開きになってリラックスした顔も見せます。耳掃除も大好きで、途中でやめると抗議もします。

夏毛と冬毛で見た目の印象がだいぶ変わります。特徴的なのは、目の上の「前髪」。冬になると伸びてきて、見事なぱつん前髪スタイルに生え揃います。あまりに見事で、飼育員が切りそろえているのではないかと聞かれることもあります。

散々鳴いて欲しかったエサを一口だけ食べてやめてしまったり、お隣のヤギをかまっていると無言でじっと見つめてきたり、目立たないようにしてその感情表現はとても豊かです。



獣医の日記

動物への投薬がすんなり行かない場合、原因の一つに薬のにおいがあります。たとえば、シマウマの餌に薬を混ぜると、口をつける前ににおいで気づいて食べてくれないことは割蹄のたびに直面する悩みでもあります。

このたび、ヤギたちの耳や鼻にちょっとしたハゲが見つかりました。皮膚の感染症が考えられたので、軟膏を塗ることにしたのですが、これが結構においます。さわやかなハーブのような香りなのですが、ヤギがどう感じるかはわかりません。かくして、薬を塗り始めたところ、思いのほか当のヤギたちに好評であることがわかりました。ほかのヤギが薬を塗られているところや、私が握る薬のチューブに顔を摺り寄せたり、ずっとにおいをかきつけてフレーメン（フェロモンなどを嗅ぎ取った時に上唇をめくりあげて、よくにおいを感じようとする反応）をしたりと好感触です。においは好きでも、捕まえられるのは嫌なので、自分の番になると逃げ、ほかのヤギの番になると寄ってくる…といった妙な状況にもなってきます。

そんな中、ただ1頭ハゲができていないヤギ、タンゴだけは常に他人事のため、薬の塗布が始まると猛然とダッシュしてきて、においをかがせるとばかりに他のヤギと人の間に割り込んできます。おかげでみんな少しずつ毛が生えてきたので、タンゴの「お楽しみタイム」ももうすぐ終わりそうです。



★動物たちの主な移動(平成30年2月1日～平成30年4月30日)★

ブラウンキツネザル(♂1 死亡)、シャクケイ(♂1 死亡)、ショウコク(♀1 死亡)、ハイイロコクジャク(性別不明1繁殖)、シセンレッサーパンダ(♂1 搬出、姫路セントラルパーク)、プレーリードッグ(性別不明2繁殖)